

イーストスプリング 米国高利回り社債オープン

追加型投信／海外／債券

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として米国の高利回り社債に実質的に投資することにより、高い金利収入の確保とともに証券の値上り益を追求し信託財産の成長を図ることを目指した運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

<https://www.eastspring.co.jp/>

[お問い合わせ先]

電話番号：03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

ホームページにアクセス ⇒ 「ファンド情報」を選択 ⇒ ファンド名を選択 ⇒ 「目論見書・月報・運用報告書等」の「運用報告書(全体版)」を選択

日経新聞掲載名：米高利回

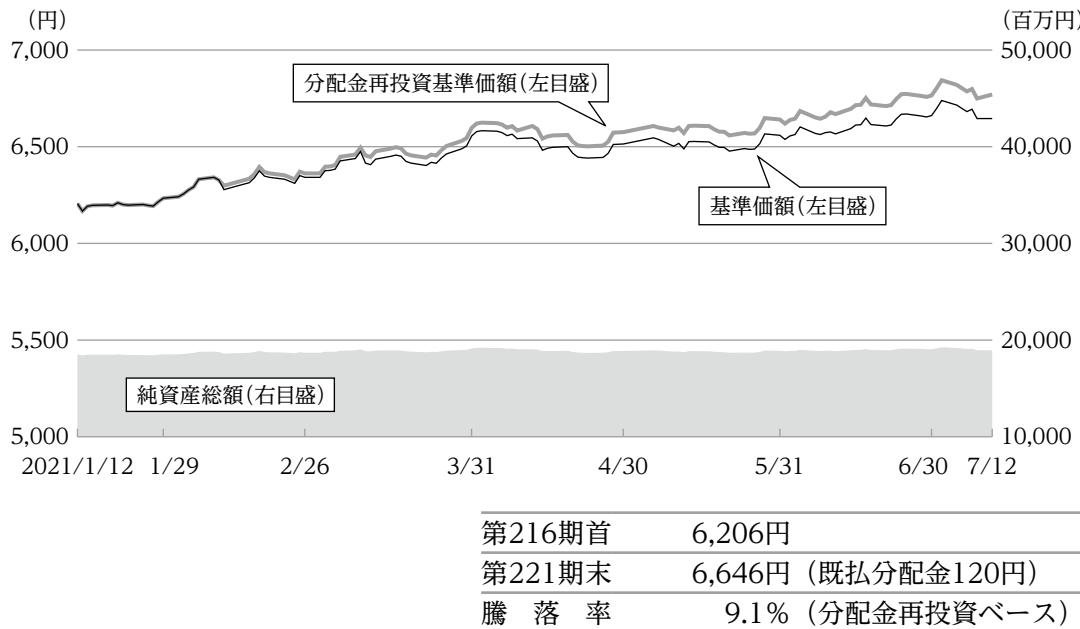
第221期末	基準価額	6,646円
	純資産総額	18,935百万円
第216期～ 第221期	騰落率	9.1%
	分配金合計	120円

(注)騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

運用経過

基準価額等の推移について

(2021年1月13日～2021年7月12日)



(注1)分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2)分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3)分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は上昇しました。

上昇要因

- ・債券価格が上昇（利回りは低下）したこと。
- ・為替市場でドルが上昇したこと。

1万口当たりの費用明細

(2021年1月13日～2021年7月12日)

項目	第216期～第221期		項目の概要
	金額	比率	
(a)信託報酬	58円	0.900%	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 作成期間の平均基準価額は、6,477円です。
(投信会社)	(30)	(0.464)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(25)	(0.382)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(4)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b)その他費用	1	0.021	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.015)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	59	0.921	

(注1)作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2)各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

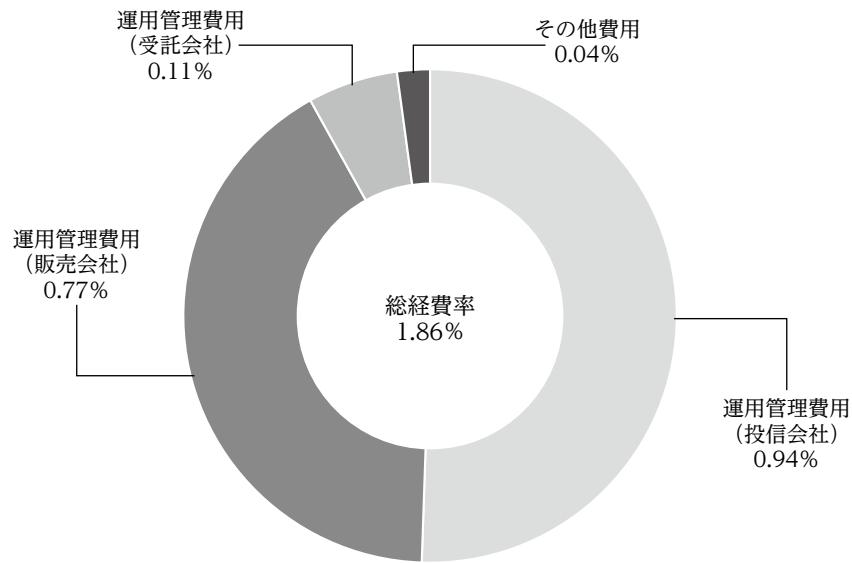
(注3)各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4)その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(参考情報)

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.86%です。



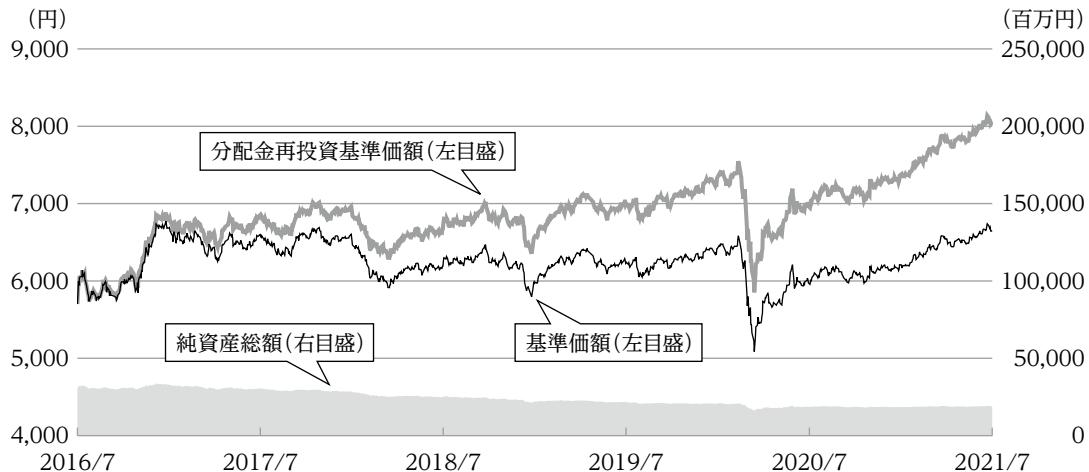
(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 最近5年間の基準価額等の推移について (2016年7月11日～2021年7月12日)



(注1)分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2)分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3)分配金再投資基準価額は、2016年7月11日の値が基準価額と同一になるように指指数化しております。

決算日	2016/7/11	2017/7/10	2018/7/10	2019/7/10	2020/7/10	2021/7/12
基準価額 (円)	5,702	6,596	6,189	6,267	5,975	6,646
期間分配金合計（税引前） (円)	—	240	240	240	240	240
分配金再投資基準価額の騰落率(%)	—	20.1	-2.5	5.2	-0.8	15.5
純資産総額 (百万円)	30,361	30,491	24,943	21,746	18,567	18,935

*当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指指数を設けておりません。

投資環境について

米国高利回り社債市場

当座成期初から2021年3月下旬にかけて、米国債利回りは新型コロナウイルス感染拡大後の財政出動に伴う国債増発による需給バランス悪化懸念やインフレリスクなどが意識され大幅に上昇（価格は下落）しました。その一方で、米国高利回り社債の対国債スプレッドは景気回復への期待と市場予想を上回る企業収益や良好な経済指標などを背景に縮小しました。4月以降、米連邦準備制度理事会（FRB）は量的緩和の縮小を急がないとの見方が広がり米国債利回りの上昇に一服感が見られました。その後、米連邦公開市場委員会（FOMC）での量的緩和縮小の議論開始に関する言及を受けて一時上昇する局面もありましたが、作成期末にかけて低下しました。米国高利回り社債の対国債スプレッドは、デフォルト（債務不履行）率の低下などファンダメンタルズの改善を背景に引き続き縮小しました。米国高利回り社債の利回りはスプレッドの縮小を受けて通期では低下しました。

為替市場

当座成期初から2021年3月下旬にかけて米国債利回りの上昇を受け、日米金利差の拡大が意識されたことにより円安ドル高となりました。4月は米国債利回りが低下に転じたことやリスク選好地合いの一服などを受けて、下旬にかけて円高ドル安となりました。しかしその後は、米国の金融正常化の前倒し観測、リスク選好地合いの回復、日銀の緩和政策長期化観測に加えて、日本のワクチン接種の遅れなどが円売りを誘い、作成期末にかけて円安ドル高が進行しました。通期でもドルは対円で上昇しました。

ポートフォリオについて

当ファンド

イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国の高利回り社債に投資しました。

イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド

主として米国の高利回り社債に投資することにより、高い金利収入の確保とともに証券

の値上がり益の獲得を目指した運用を行いました。クレジット・アナリスト・チームによる徹底した個別銘柄の調査・分析とバリュエーションを重視するとともに、業種や個別銘柄の分散に配慮した銘柄選択およびポートフォリオ構築を行いました。

セクター別では特にエネルギー、消費財、メディアなどがプラスとなった一方で、公益は小幅のマイナスとなりました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきました。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）

項目	第216期	第217期	第218期	第219期	第220期	第221期
	2021年1月13日 ～2021年2月10日	2021年2月11日 ～2021年3月10日	2021年3月11日 ～2021年4月12日	2021年4月13日 ～2021年5月10日	2021年5月11日 ～2021年6月10日	2021年6月11日 ～2021年7月12日
当期分配金（円）	20	20	20	20	20	20
（対基準価額比率）（%）	0.318	0.311	0.305	0.307	0.303	0.300
当期の収益（円）	20	20	20	17	20	20
当期の収益以外（円）	－	－	－	2	－	－
翌期繰越分配対象額（円）	493	499	511	509	516	524

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)－印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

当ファンド

引き続きイーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド受益証券を組み入れることにより、信託財産の成長を図ることを目指します。

イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド

米国高利回り社債のクレジットスプレッドは世界金融危機後の平均を下回る水準まで縮小しましたが、ファンダメンタルズの改善などを背景に今後も同水準を維持すると考えています。米国景気は本格的な経済活動の再開により回復傾向が続くとみており、企業の信

用力は増益やフリーキャッシュフローを活用した債務削減などにより改善しています。足元の市場環境の回復を受けて、投資適格債から格下げされる債券の減少とデフォルト（債務不履行）率は低下傾向であること、加えて相対的に高い利回りが期待できることなどから、米国高利回り社債に対する堅調な需要は継続すると考えています。今後も、運用担当者はポートフォリオの格付けを相対的に高めに維持し、市場の流動性などに留意するとともに、保守的な運用を行う方針です。引き続き市場環境を注視し、企業のクレジット分析を徹底して行ってまいります。

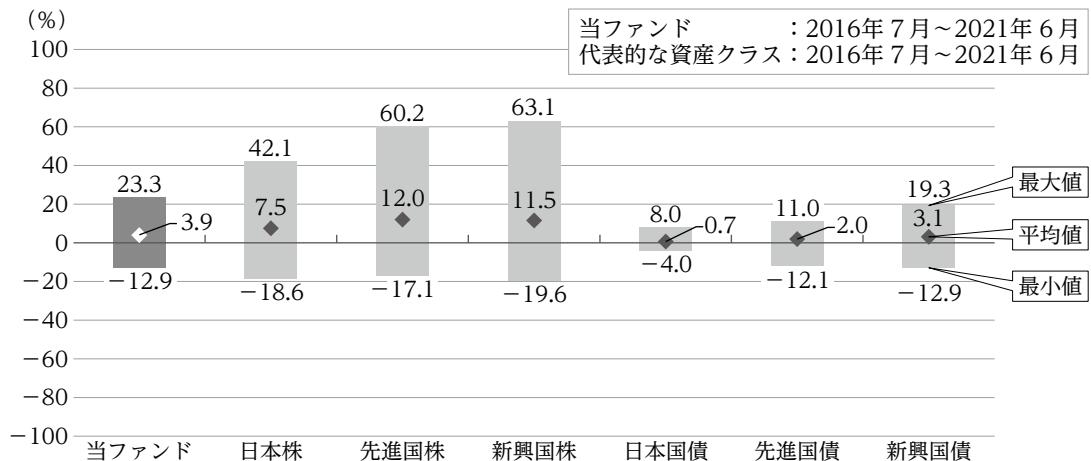
お知らせ

該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2003年1月30日設定）	
運用方針	イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国の高利回り社債に投資することにより、高い金利収入の確保とともに証券の値上り益を追求し信託財産の成長を図ることを目指した運用を行います。	
主要投資対象	イーストスプリング 米国高利回り社債オープン	イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	イーストスプリング 米国高利回り社債オープン マザーファンド	米国の高利回り社債を主要投資対象とします。
運用方法	イーストスプリング 米国高利回り社債オープン	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	イーストスプリング 米国高利回り社債オープン マザーファンド	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時（毎月10日。休業日の場合は翌営業日。）に経費控除後の利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配の対象とし、分配金額は基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象金額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。	

(参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※当ファンドと代表的な資産クラスについて、上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

各資産クラスの指標

日本株	東証株価指数（TOPIX） (配当込み)	株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指標の算出、指標値の公表、利用など同指標に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数（TOPIX）の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCI Inc.が算出している指標です。同指標に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指標の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	野村證券株式会社が公表している指標で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。
日本国債	NOMURA-BPI国債	J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。
先進国債	J.P.モルガンGBIグローバル (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	
新興国債	J.P.モルガンGBI-EEMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	

(注)海外の指標は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指標を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指標を当社が円換算したものです。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

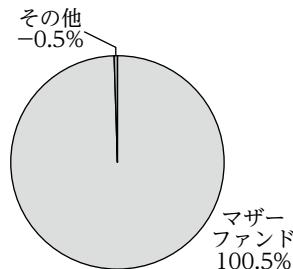
組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

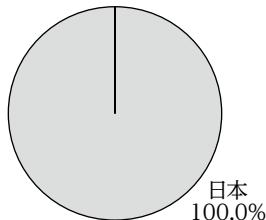
ファンド名	第221期末 2021年7月12日
イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド	100.5%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

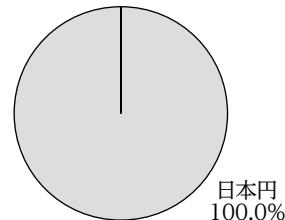
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2)資産別配分において未払金等の発生により「その他」の数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目	第216期末 2021年2月10日	第217期末 2021年3月10日	第218期末 2021年4月12日	第219期末 2021年5月10日	第220期末 2021年6月10日	第221期末 2021年7月12日
純資産総額 (円)	18,599,593,487	18,857,446,981	19,053,052,026	18,800,857,884	18,901,064,300	18,935,055,003
受益権総口数 (口)	29,627,872,865	29,397,119,108	29,108,565,412	28,910,175,780	28,741,456,413	28,489,628,903
1万口当たり基準価額(円)	6,278	6,415	6,546	6,503	6,576	6,646

*当作成期中（第216期～第221期）において追加設定元本額は90,095,661円、一部解約元本額は1,457,829,876円です。

組入上位ファンドの概要

＜イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド＞

基準価額の推移(2020年1月30日～2021年1月29日)

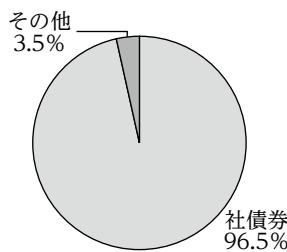


組入上位10銘柄(組入銘柄数: 405銘柄)

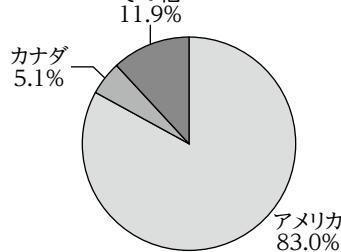
(2021年1月29日現在)

銘柄名	業種	利率	償還日	国・地域	比率
CCO HOLDINGS LLC	メディア	5.375%	2029/6/1	アメリカ	1.4%
SPRINT CORP	通信	7.125%	2024/6/15	アメリカ	1.3%
NAVIENT CORP	金融	7.250%	2023/9/25	アメリカ	1.1%
HCA INC	ヘルスケア	5.625%	2028/9/1	アメリカ	1.0%
FREEPORT-MCMORAN	素材	4.550%	2024/11/14	アメリカ	1.0%
KRAFT HEINZ FOODS	消費財	4.875%	2049/10/1	アメリカ	0.9%
NOVA CHEMICALS CORP	素材	5.250%	2027/6/1	カナダ	0.8%
BAUSCH HEALTH AMERICAS	ヘルスケア	8.500%	2027/1/31	アメリカ	0.8%
KRAFT HEINZ FOODS	消費財	4.625%	2039/10/1	アメリカ	0.7%
TENET HEALTHCARE	ヘルスケア	5.125%	2025/5/1	アメリカ	0.7%

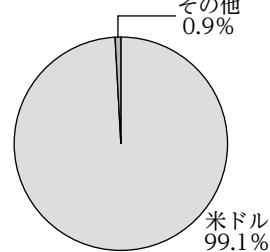
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注)組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧いただけます。

1万口当たりの費用明細

(2020年1月30日～2021年1月29日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a)その他費用 (保管費用)	7円 (7)	0.028% (0.028)	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 期中の平均基準価額は、25,052円です。 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他1)	(0)	(0.000)	信託管理事務に係る手数料
合計	7	0.028	

(注1)期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2)各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注3)各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。